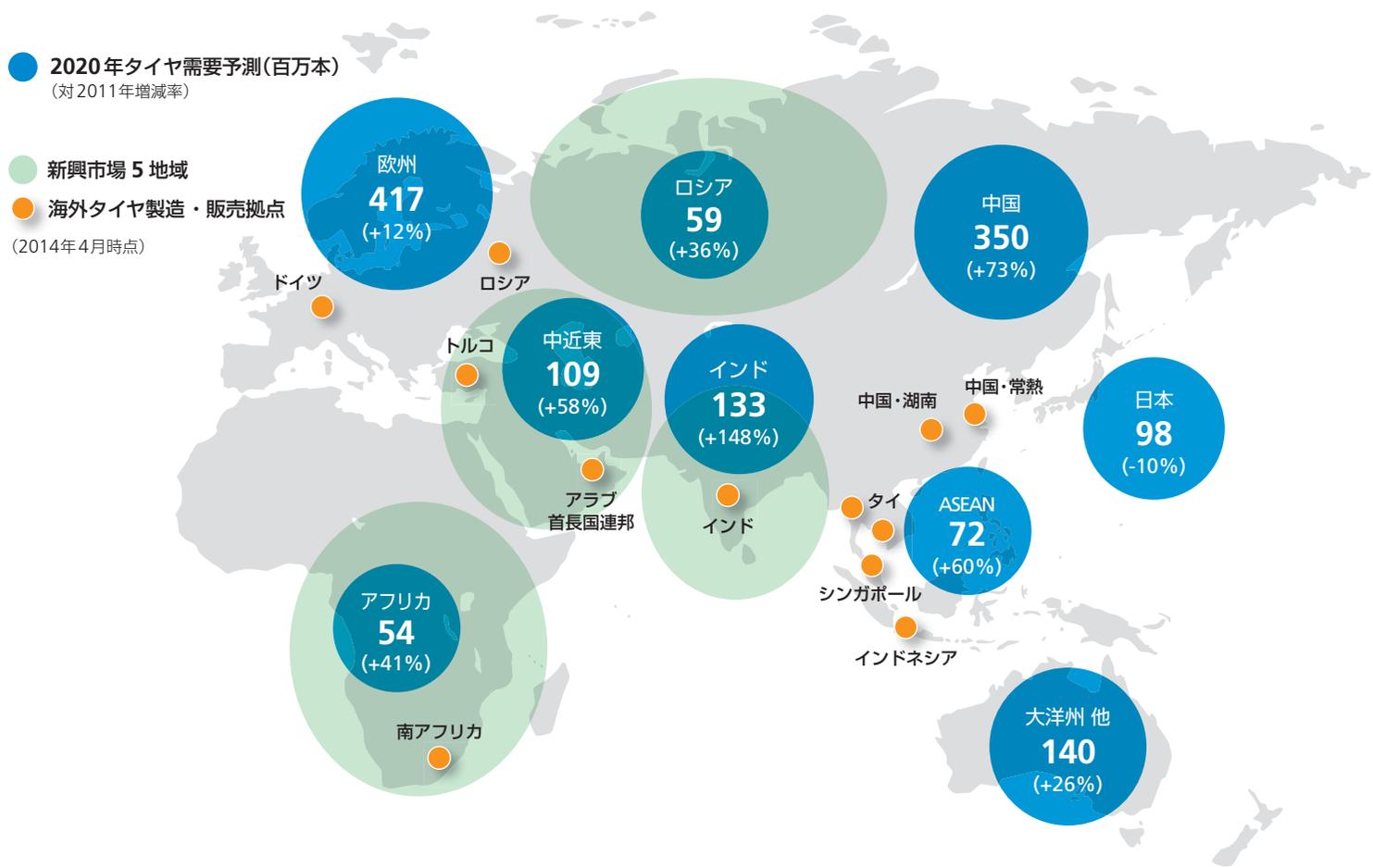


新興市場への進出

世界のタイヤ需要は年平均4%増で推移し、2020年には約20億本に達すると予測されることから、当社グループではグローバルな供給体制を強化しています。



VISION 2020で掲げる「新市場への挑戦」

新興国の市場成長が顕著に表れているなかで重要となるのが「新市場への挑戦」であり、「新興市場への進出」「中国市場の成長」「農機用タイヤのアジア展開」の三つの取り組みを推進しています。

「新興市場への進出」

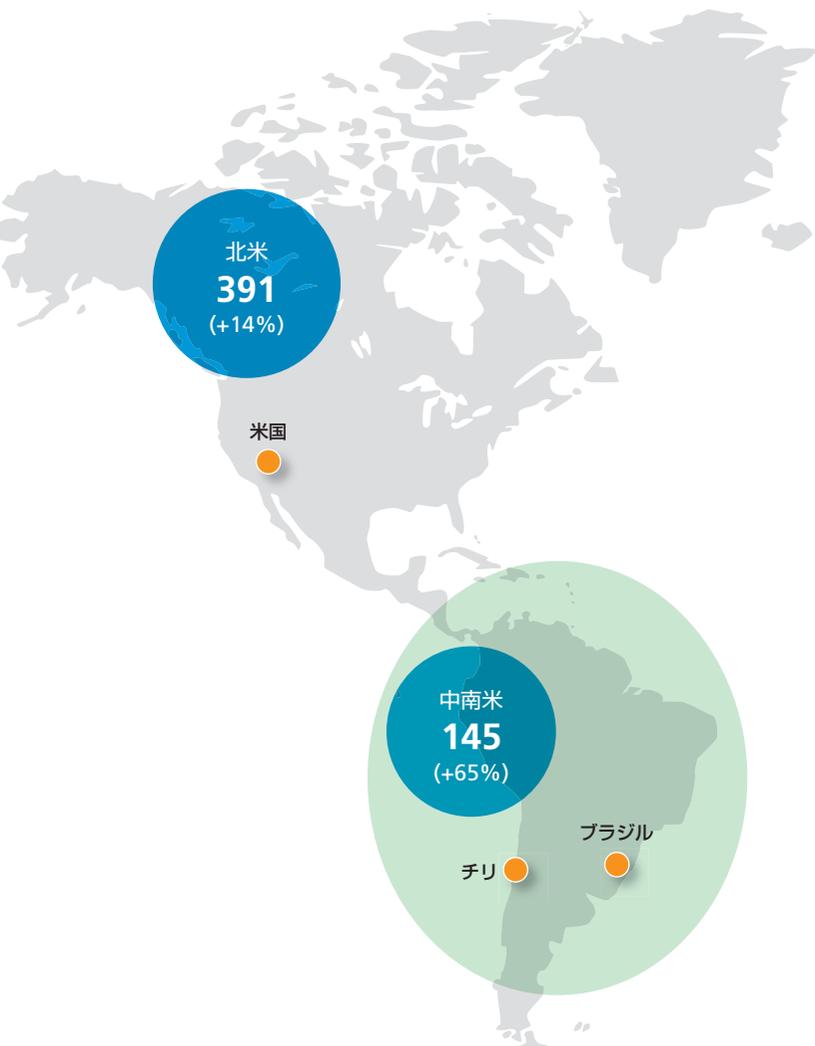
～主要5地域における生産・販売拠点の積極展開～

当社グループでは、今後大きな需要拡大が期待できる中南米・ロシア・中近東・インド・アフリカといった新興市場5地域

における販売比率を現在の11%から2015年には14%へと引き上げることを目標に掲げ、生産・販売拠点の新設を積極的に進めています。

2013年4月にはインドの販売会社、「ファルケンタイヤインディア」がファルケンブランドの販売を開始しました。2015年に68万本の販売本数を目指して順調なスタートを切っております。

またトルコでは2013年9月より新工場の建設を進めています。2015年7月からの生産開始に向け、順調に進行しています。生産能力は2015年末に日産4,000本、2019年末には日産



30,000本とする予定です。トルコ工場稼働により、欧州・中東・北アフリカ・ロシアなど周辺市場への供給体制が強化されます。

さらに2013年10月には、ブラジル工場が稼働を開始しました。当社の長期ビジョンでは2020年の中南米地域におけるタイヤ需要が1億4,500万本と、新興市場5地域の中で最大市場になると予測しています。ブラジル工場の稼働により、中南米地域のタイヤ生産・販売体制のさらなる強化を図ります。2015年には生産本数を日産15,000本、販売本数を約530万本とする予定です。

アフリカ地域では、2013年12月より、買収したアポロタイヤ南アフリカ社のレディスミス工場が当社の南アフリカ工場として稼働しました。南アフリカ工場では、安全・品質・生産性向上に関する工場改善を行い、現在日産9,600本である同工場の生産能力を2016年には日産12,200本とします。さらに2017年には日産14,500本とし、高性能タイヤを中心に、生産能力向上を図る予定です。この買収により、当社はアフリカ全土でのダンロップブランドの使用権を確保しました。大きな成長が見込まれるアフリカ市場におけるタイヤ事業をさらに拡大させていきます。

「中国市場の成長」～ブランド価値向上と拡販を推進～

中国市場においては、2012年、常熟工場に続く2番目の生産拠点である湖南工場が稼働を開始しました。これにより、高付加価値タイヤの現地生産を進めることによるタイムリーな供給を進めるとともに、リテールチャネルの強化を通じたブランドの価値向上と拡販を進めています。これらにより、2013年の販売本数1,300万本を2015年に2,000万本とする事を目指しています。

「農機用タイヤのアジア展開」～農機用タイヤ工場、生産開始～

タイにて建設していた農機用タイヤの新工場が2014年4月より稼働を開始しました。この新工場において、大型の農機用タイヤを開発し、2015年までにラインアップを拡充していきます。

また同工場では、コンバイン用のゴムクローラの生産において、スチールコードをスパイラル状に巻く新工法である「スパイラル方式」を採用し、優れた耐久性と低振動性を実現した高性能ゴムクローラを生産します。